



# 天文資料

2022年 6月号

令和4年度 第3号 (6月号)

令和4年5月26日

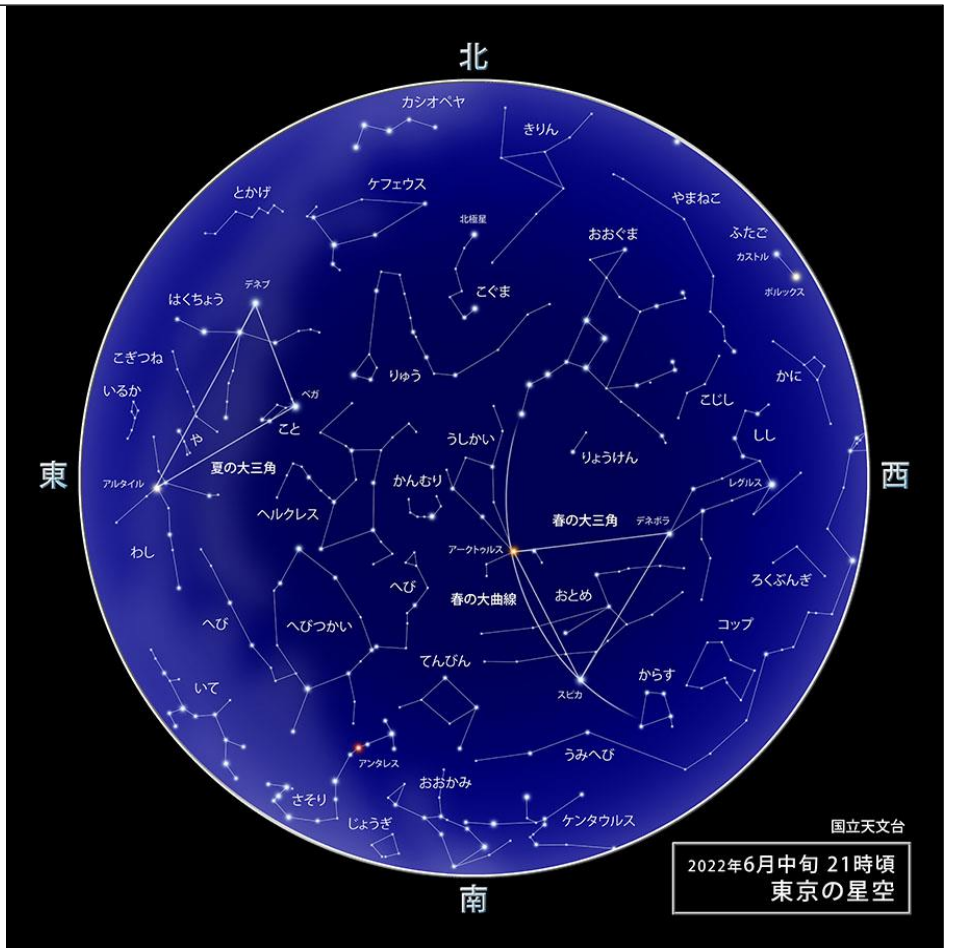
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



## <惑星が勢ぞろい！>

日の入りの時刻が1年で最も遅くなるのが6月の終わり頃です。空が暗くなると、春の星座は西に傾いており、東の空には入れ替わるように夏の星座が昇ってきます。中旬から下旬にかけて、明け方の空にすべての惑星が勢ぞろいします。惑星のうち肉眼で簡単に見ることができるのは、水星、金星、火星、木星、土星の5つです。その中で見ることが最も難しい



水星が、16日に西方最大離角となって比較的見やすくなります。

- ・ 6日 芒種 (太陽黄経75度)
- ・ 7日 上弦
- ・ 11日 入梅 (太陽黄経80度)
- ・ 14日 満月
- ・ 16日 水星が西方最大離角
- ・ 21日 夏至 (太陽黄経90度) / 下弦
- ・ 29日 新月



惑星たちは、夜空にほぼ直線状に並んでいるのがわかります。これは、惑星が太陽の周りのほぼ同じ平面上を公転していて、それを、やはり同じ平面上にある地球から見ているためです。また、毎日観察すると、月が惑星に沿って日に日に東側に移動していくのがわかります。月が地球の周りを公転する平面も、惑星が公転している平面とほぼ同じであるため、月は惑星の近くを通過して移動していくように見えるのです。